

令和8年度
北栄みらい伝承館
特別企画展

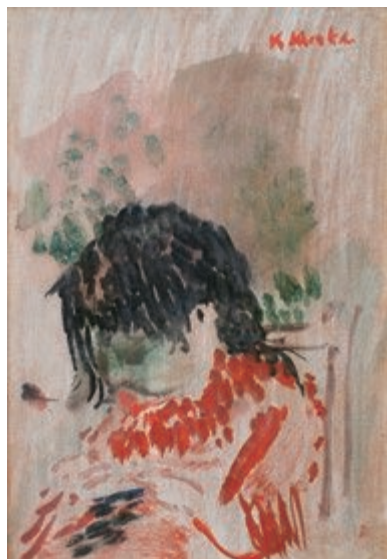
北栄文化回廊

生誕130年

前田 寛治展

故郷の愛蔵作品から

K Maeta



鳥取初公開

前田寛治《子供》（1930年、北栄町教育委員会蔵）



前田寛治《ブルターニュの女》（1925年、個人蔵）

2026.10.1(木) ⇒ 11.15(日)

- 主 催：北栄町教育委員会
- 開館時間：午前9時～午後5時（最終入館は午後4時45分）
- 休 館 日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土日を除く）
（ただし、11/3～11/15は休館日なし）

入館無料

- ◆特別講演会「前田寛治の作品の魅力」
講師：友岡 真秀 氏（鳥取県立美術館主任学芸員）
日時：10月18日(日) 午後1時30分から午後3時まで
場所：北栄町北条農村環境改善センター
定員：50人程度（事前電話申込）

北栄みらい伝承館
（北栄町北条歴史民俗資料館）

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井47-1
お問合せ・お申込み Tel.0858-36-4309

HP <https://www.e-hokuei.net/site/shougaigakushu/>
E-mail h-rekishi@e-hokuei.net

とっとり県民カレッジ連携講座

生誕130年

前田 寛治 展

～故郷の愛蔵作品から～

K Maeda

前田寛治は、1896（明治29）年10月1日、鳥取県東伯郡中北條村（現北栄町）国坂に生まれ、1930（昭和5）年33歳の若さで夭逝した画家です。その短い生涯における旺盛な活動と遺された数多くの作品は、近代日本洋画史上に重要な位置を占めています。

前田の本格的な画業は、パリ留学を終えて帰国した1925（大正14）年から1930（昭和5）年までのほんのわずかの間です。この時期は日本において多くの美術団体が生まれ、前衛美術団体も台頭するなど美術の大きな転換期でもありました。そんな中で1926（大正15）年、前田は滞欧時代の友人たちと一九三〇年協会を結成、さらに「前田写実研究所」を開設し、独自の絵画理論を展開しながら帝国美術院展覧会（帝展）や一九三〇年協会展を中心に意欲的に作品を発表していきます。そして、1929（昭和4）年には33歳にして官展の帝国美術院展覧会の審査員にあげられ、その年の第10回帝国美術院展覧会に出品した大作《海》が最高賞の帝国美術院賞を受賞します。中央画壇の頂点に上り詰め、「前寛ばり」と呼ばれる作風が全国に広がり若手の注目作家として脚光を浴び、将来を囑望されますが、その翌年早すぎる画家人生を閉じました。

この展覧会は前田の生誕130年を迎えるにあたり、故郷に愛蔵されている作品を中心に展示紹介します。



①前田寛治《赤い帽の少女》1927年頃 ②前田寛治《花》1928年頃 ③前田寛治《橋津風景》1921年頃
④前田寛治《水辺》1921年 ⑤前田寛治《赤い服の少女》1923年 ⑥前田寛治《彫刻家の肖像》1925年
（①～⑥個人蔵）

同時期開催
展覧会のお知らせ

「生誕130年

一九三〇年協会設立100年

前田寛治 — ポエジイとレアリスム —

●会期 10月10日(土)～12月13日(日)

●会場 鳥取県立美術館

※観覧料、休館日等詳細は会場へお問い合わせください。



北栄みらい伝承館 (北栄町北条歴史民俗資料館)

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町井田47-1

お問合せ・お申込み TEL0858-36-4309

HP <https://www.e-hokuei.net/site/shougaigakushu/>

E-mail h-rekishi@e-hokuei.net

